

平成 30 年度文化庁文化交流使 略歴

(敬称略・50 音順)

- かさまつ やすひろ
笠松 泰洋 (作曲家) 1
- たなか こおき
田中 功起 (アーティスト) 2
- たまがわ ななふく
玉川 奈々福 (浪曲師, 曲師) 3
- よねかわ としこ
米川 敏子 (生田流箏曲・地歌 演奏家) 4

かさまつ やすひろ
笠松 泰洋 (作曲家)

【出 生 地】福井県福井市

【生年月日】1960 年 1 月 11 日

【学 歴】東京大学文学部美学芸術学科卒業

作曲を故三善晃，ピアノを故ゴールドベルク山根美代子，オーボエを故岩崎勇の各氏に師事。室内楽からミュージカル，オペラまで幅広く作曲して発表。また，故蜷川幸雄作品をはじめとする演劇，森山開次や平山素子のダンス作品，映画・テレビの映像作品等に数多くの音楽を提供している。最近の仕事としては，音楽劇『星の王子さま』（2015～2016 年水戸芸術館等公共ホール共同制作，青木豪台本，演出），『戦艦武蔵』（2016 年 NHK スペシャルドラマ，岡崎栄台本，監督），『Hybrid』（2016 年新国立劇場制作，平山素子振付け，出演，サンセバスチャン

フェスティバル参加），『神の子勸進帳』（2017 年石川県立音楽堂制作，森山開次振付け，出演），『忠臣蔵』（2017 年新橋演舞場）の音楽を担当。2018 年には劇団四季『恋に落ちたシェイクスピア』，2018 年福井しあわせ元気国体の式典前演技の音楽も担当予定。オーボエとオーボエ系民族楽器（ズルナ，メイ）を演奏し，様々なレコーディングやライブに参加，また，新オリエント楽派，桜バンドのメンバーとしても活動している。クリスタルアーツ所属。



撮影：柴田

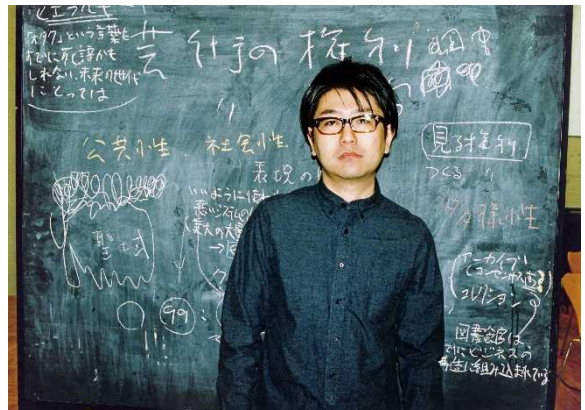
【ウェブ】<http://blogs.yahoo.co.jp/synlogue>

【出 生 地】栃木県芳賀郡益子町

【生年月日】1975 年 12 月 6 日

【学 歴】東京造形大学造形学部美術学科絵画専攻卒業
東京藝術大学大学院美術研究科修士課程修了

一時的な人びとの集まりを組織し、集団の行為を記録するという方法論を用いたプロジェクトを多数行う。人びとの営みの中に生じる政治的な契機に関心がある。



撮影：題府基之

【略 歴】

- 1998 ウィーン芸術アカデミー（オーストリア）に短期留学
- 2000 東京造形大学造形学部美術学科絵画専攻卒業
- 2004 アジアン・カルチュラル・カウンシルの助成によりロケーション・ワンに参加，ニューヨークに滞在
- 2005 東京藝術大学大学院美術研究科修士課程修了
ポーラ芸術振興財団の助成及びフランス政府給費留学生としてパヴィリオン（パレ・ド・トーキョー）に参加，パリに滞在
- 2006 台北ビエンナーレに参加
- 2008 光州ビエンナーレに参加
- 2009 文化庁新進芸術家海外研修制度にて渡米し，その後 2016 年までロサンゼルスに滞在
- 2011 ヨコハマ・トリエンナーレに参加
- 2012 「Made in L.A.」 ハマー美術館（ロサンゼルス）に参加
- 2013 ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展で日本館として特別表彰受賞
カリフォルニア・パシフィック・トリエンナーレに参加
- 2015 ドイツ銀行グループ「アーティスト・オブ・ザ・イヤー」に選出
「A Vulnerable Narrator」 ドイツ銀行クンストハレ（ベルリン）にて個展
- 2016 「共にいることの可能性、その試み」水戸芸術館にて個展
リヴァプール・ビエンナーレに参加
- 2017 彫刻プロジェクト（ミュンスター）に参加
「Provisional Studies (Working Title)」 クンストハウス（グラーツ）にて個展
ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展に参加

【ウ ェ ブ】 <http://www.kktnk.com/> (英語サイト)

【出 生 地】神奈川県横浜市

【生年月日】－

【学 歴】上智大学文学部卒業

1994 年日本浪曲協会主宰三味線教室に参加。1995 年玉川福太郎入門。師の勧めにより 2001 年より浪曲師としても活動。2004 年「玉川福太郎の徹底天保水滸伝」全 5 回、2005 年「玉川福太郎の浪曲英雄列伝」全 5 回プロデュース。2006 年本橋成一監督作品『ナミイと唄えば』出演。同年 12 月、芸名を美穂子から奈々福に改め名披露目。様々な浪曲イベントをプロデュースする他、自作の新作浪曲も手掛け、他ジャンルの芸能・音楽との交流も多岐にわたって行う。2012 年、一般社団法人日本浪曲協会理事に就任。



撮影：御堂義乗

【略 歴】

- 2008 浅草公会堂にてヴェルディ・オペラ『椿姫』の狂言回し（語り部）としてオーケストラと競演
- 2009 寺山修司原作『新宿お七』を浪曲化
- 2010 文楽の竹本千歳大夫と鶴澤清二郎を迎え「義太夫節と浪花節の会」をプロデュース
春野恵子と浪曲漫オユニット「あともわシスターズ」を組み「浪曲タイフーン！」の公演を開始
- 2011 上野の森美術館にて浪曲と琵琶とのコラボレーション『音曲百人一首』を披露
- 2012 明治神宮における「明治天皇百年祭」にて浪曲『明治天皇』を製作、口演、奉納
『悲願千人斬りの女』の長編浪曲一挙口演の独演会を再演
- 2013 NHK東西浪曲大会初出演
公演「浪曲からパンソリへ、パンソリから浪曲へ～半島と列島を結ぶ芸能の道、路上の声～」インターネットラジオ「玉川奈々福のほとぼしるラジオ！」を開始
京都造形芸術大学非常勤講師として講義を担当
- 2014 明治神宮の昭憲皇太后百年祭にてオリジナル浪曲『浪曲 昭憲皇太后』を製作、口演、奉納
渋谷ユーロライブにて開催されている「渋谷らくご」に定期出演
木馬亭にて能と女流義太夫と浪曲とのコラボ口演「のう、じょぎ、ろう！」をプロデュース
- 2015 能楽師ワキ方・安田登主催プロジェクトにて神話『イナナノの冥界下り』を初演（語り、三味線）
上方落語定席「天満天神繁昌亭・昼席」に東京の浪曲師として初出演
木馬亭にて「浪曲破天荒列伝」全 5 回開催。韓国・ソウルにて浪曲公演
- 2017 「玉川奈々福がたずねる語り芸パースペクティブ」全 11 回開催
- 2018 初中国公演（北京、蘇州、上海）
安田登プロジェクト「イナナノの冥界下り」イギリス、リトアニア公演

【ウェブ】ななふく日記 <http://tamamiho55.seesaa.net/>, <https://twitter.com/nanafuku55>

よね かわ とし こ
米川 敏子（生田流箏曲・地歌 演奏家）

【出 生 地】東京都千代田区

【生年月日】1950 年 10 月 7 日

【学 歴】－

幼少より、人間国宝である母・初代米川敏子から生田流箏曲、地歌三絃の指導を受け、古典の基礎を身につける。その後、作曲の基礎を乗松明広に師事して作曲にも意欲を示し、また海外の公演にも積極的に参加、その芸域を広げた。近年は、自らのリサイタルの開催とともにグループ「新しい風」のメンバーとしても積極的に活躍。また、創邦 21 理事長として創作にも力を入れ、作品数は 70 曲に及び、「箏曲」といった枠をこえた活動も注目されている。くらしき作陽大学音楽学部音楽学科（邦楽）特任教授。公益社団法人日本三曲協会常任理事。



【略 歴】

- 1973 NHK 邦楽技能者育成会 18 期卒業
- 1977 韓国、フランス、中国、イタリア、ドイツ等にて演奏旅行実施
- 1989 国際交流基金より派遣されソ連にて演奏
- 1992 国際交流基金より派遣されフィンランド、スウェーデン、デンマーク、アイルランドにて演奏
- 1994 国際交流基金より派遣されスイス、オーストリア、ポーランド、ベルギーにて演奏
- 1995 芸術選奨文部大臣新人賞受賞、ハンガリー、ポーランドにて演奏
- 1996 「米川裕枝箏・三絃リサイタル」の演奏により文化庁芸術祭優秀賞受賞
- 2004 エクソン・モービル音楽賞（邦楽部門）受賞
- 2005 芸術選奨文部科学大臣賞受賞
- 2007 米川裕枝改め二代米川敏子を襲名、研箏会五代目家元となる
- 2011 紫綬褒章受章
- 2015 平成 26 年度日本芸術院賞受賞
- 2010, 2011, 2016, 2017 チャイコフスキー記念国立モスクワ音楽院（ロシア）他にて演奏

【主な作品】

『海～たゆとふ』『月彩』『風彩～箏・ヴィオラによる』『河千鳥』『天泣』『天の彩』『あくがれて行く』『彩の響～箏とチェンバロのための』